

地域と結ぶ

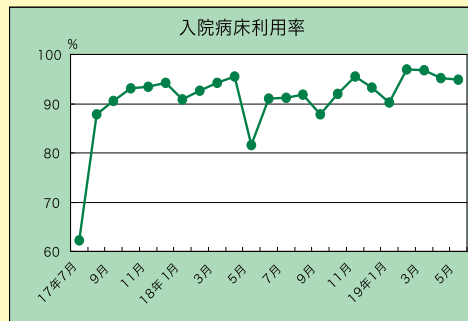
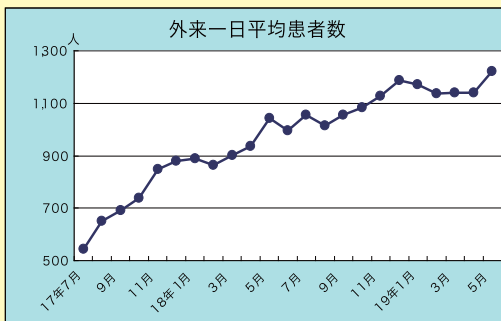
順天堂練馬病院ニュース

開院2周年 感謝を込めて

順天堂練馬病院は、平成17年7月開院以来、本年7月で満2周年を迎えます。この間大過なく、ほぼ順調に当院を運営出来たことは、一人一人の教職員はもとより、志村豊志郎練馬区長をはじめ、練馬区並びに区民の方々に心より厚く御礼申し上げる次第であります。今後とも当院は、練馬区民の心身の癒しのオアシスとなりますよう教職員一同、精一杯努力いたします。どうか倍旧のご支援ご指導をお願い申し上げます。



院長 宮野 武



外来患者数は開院以来増加を続け、入院病床利用率も高い状況が続いております。

新任科長紹介

消化器内科

宮崎招久 教授

このたび練馬病院(消化器内科)に着任いたしました。最新の医療器械を装備し、感染予防対策の整った、しかも日本で最も優れた免震構造を誇る病院で診療ができますことを大変うれしく思っております。私は昭和56年に順天堂大学消化器内科学講座に入局し、特に肝臓疾患を学びました。平成11年10月からは附属病院である越谷病院内科に総合診療科として赴任しました。今まで学んだ全人的・総合的医療の重要性をこれからの診療に生かしていきたいと考えております。

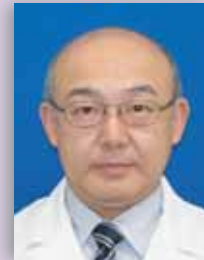


消化器は人間が毎日の生活を営むうえでの大切な臓器で、特に食事と密接な関係があります。どうも食欲が無い、お腹の調子が悪い、お酒が大好きで肝臓が心配だなど気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談にお越しく下さい。少しでも地域の皆様の健康維持のお手伝いができれば幸いです。より一層信頼される医療を目指して努力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科

坂本善郎 先任准教授

当院では地域医療とともに先進的な癌治療を目指しております。泌尿器科においても、近年では低侵襲手術が注目されていますが、当科でも安全でかつ侵襲(※)の少ない手術法に積極的に取り組んでおります。また、病気や治療法について、できるだけわかりやすく説明するように心がけております。



わからない点がありましたら、お気軽にご相談ください。

※侵襲・・・医療において、生体内の恒常性を乱す可能性のある外部からの刺激。

メンタルクリニック

綱島浩一 先任准教授

この6月1日より、練馬病院メンタルクリニックに赴任してきた綱島と申します。

これまで、前任の病院では、うつ病を始めとして、急に呼吸の苦しさや動悸などに悩まされるパニック障害、人と接するときに異常に緊張する社会不安障害などの治療に専念して参りました。練馬病院では、院内入院中または他の科へ通院中の患者さまへの対応が中心となりますが、もしメンタルクリニックへの受診希望の方がおられましたら、主治医にご相談ください。積極的に対応したく存じます。



今後ともどうか宜しくよろしくお願い申し上げます。

第101回 医師国家試験の結果発表について

副院長 児島邦明

順天堂大学医学部では、毎年90名の医学生が卒業し、
医師国家試験に臨んでいます。

“国家試験をものとししない教育”が、

順天堂のモットーです。

そして、順天堂練馬病院にも、医学生や医師国家試験に

合格したばかりの

初期臨床研修医が研鑽を積んでいます。

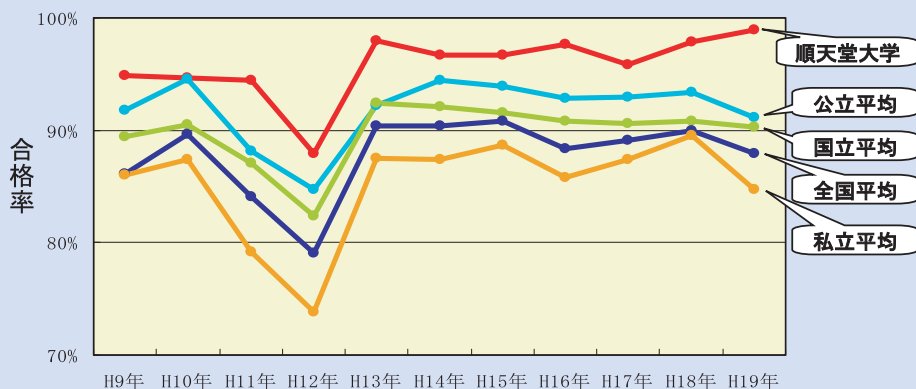
“仁の心”、“不断前進の心”

“患者さまが先生です”が、

臨床教育のモットーです。

平成19年3月29日発表 第101回 医師国家試験成績

国公立大学 医師国家試験 合格率推移



第101回 医師国家試験成績 結果

- 1位 防衛医科大学校 100%
- 2位 東京大学 99%
- 3位 順天堂大学 98.9%

国公立大学 80校中、第3位の成績
私立医科大学 29校中、第1位の成績

脳の手術：最近の進歩

脳神経外科 先任准教授 菱井誠人

みなさんは「脳腫瘍の手術」と聞いてどの様な印象をもたれますか？「非常に難しい手術？」「言葉の障害や、手足の麻痺を生じる可能性のある手術？」

脳神経外科の手術技術は日進月歩で進化しており、まだ完全ではありませんが、以前に比較すればはるかに安全な手術が行えるようになってきました。現在順天堂練馬病院でも行われている、安全で精度の高い脳腫瘍手術を行うための最新技術をご紹介します。



先任准教授 菱井誠人

1. 覚醒下手術

脳腫瘍を切り取る際に患者さまに麻酔から覚めていただき、患者さまと会話しながら手術を進める方法です。言葉の機能と関連の深い脳の領域に生じた脳腫瘍の手術に応用されます。覚醒下手術を行うことで、手術による言葉の障害を減らすことができます。

2. 術中蛍光診断

手術中に脳腫瘍だけを染め出す技術です。患者さまには手術の前に5-ALAという薬を飲んでいただきます。この物質は、ある種の脳腫瘍にたくさん取り込まれ特殊な光線を照射すると赤く光る(蛍光)性質をもっています。この方法を用いると、腫瘍と正常脳との区別がはっきりし、正常脳をできるだけ傷つけず、かつ取り残しをできるだけ少なくして脳腫瘍を切り取ることができます。

3. 術中脳表白質刺激マッピング

手足の動きに関与する脳領域の近くの手術を行う際に応用される技術です。手術中に弱い電流にて脳を刺激することにより、手足の運動に関与する脳の領域を見極めることができます。この領域を避けて手術することで、手術によって手足に麻痺が生じる危険を減らすことができます。

4. 手術用ナビゲーション

自動車のナビゲーションを思い浮かべて下さい。手術中に今手術している場所が脳の中で何処にあたるか、近くに何があるかを液晶画面で確かめながら、安全かつ確実に手術を進めることができます。



手術用ナビゲーションと手術用顕微鏡を用いた経鼻的下垂体腺腫摘出術

順天堂練馬病院脳神経外科では、このような最新の技術を駆使して、安全かつ確実な手術を行えるよう日々努力しております。脳腫瘍等のことでお困りでしたらご相談ください。

心筋梗塞が怖い:心臓カテーテル検査室より

循環器内科 助教 岡崎真也

近年、糖尿病・高脂血症・高血圧症・メタボリックシンドロームなどの動脈硬化危険因子を持つ人々が増加しています。このような危険因子を放置することによって心筋梗塞や脳梗塞といった主要心血管イベントが現代人の生命予後を左右するケースが大変多く見受けられます。

心筋梗塞を発症する前に早期発見し、治療を行うことが重要です。



助教 岡崎真也

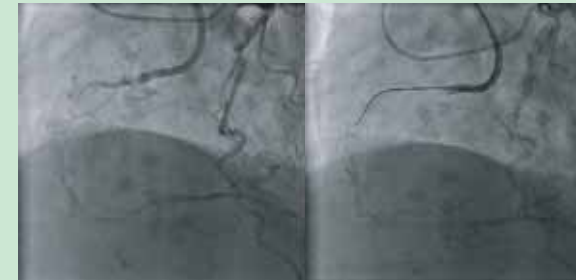
心臓カテーテル検査や治療も、最近では道具や技術の進歩によって、ほとんどの症例で手首から可能となり、術後2時間で病棟を歩き回ることも出来るようになりました。

当科では、狭心症・心筋梗塞といった虚血性心疾患の治療(冠動脈インターベンション;PCI)だけでなく、閉塞性動脈硬化症に対する治療(下肢動脈の血行再建;PTA)も積極的に行っております。当院では、開院から1年8ヶ月(2007年4月現在)で既にPCI 600例以上の実績を持つ都内でも有数の施設です。特に、冠動脈の治療では緊急カテーテルは、24時間オンコール(連絡可能)体制を敷いております。

PCIが1977年にバルーン形成術として世に生まれて30年余りが経ち、2004年8月から国内でも最新の薬剤溶出型ステント(Drug eluting stent)が保険適用となって、飛躍的に治療成績も向上しており、重症例の治療もカテーテルだけで可能な時代となってきました。



当院でのカテーテル治療風景



約20年前に右冠動脈は黄色点線部位で完全閉塞し、残る2枝も重症狭窄を認めていました。閉塞期間が長いため、通常よりも硬いガイドワイヤーを指標に慎重に進めます。



ガイドワイヤー通過後は合計3本の薬剤溶出型ステントを留置して冠動脈血流は再開。残る2枝の狭窄も全て治療され、狭心症発作は消失しました。

下肢動脈の狭窄・閉塞例では、軽症状例では歩行時の痛み(間歇性跛行)を、重症例では安静時の痛みや皮膚潰瘍の形成に至るまで様々な症例があり、当院では慢性完全閉塞例に対して超音波ガイド下にガイドワイヤーを通過してバルーン形成術・ステント植え込み術を行うなど新しい治療法も積極的に行い、実績をあげております。



右浅大腿動脈慢性完全閉塞例(黄色点線部位が閉塞血管)
膝裏からガイドワイヤーを超音波ガイド下に骨盤腔内まで通過させ、バルーン形成術・ステント留置術を施行。術後は、歩行時の痛みが消失しました。



高山アサガオ 撮影:院長 宮野 武

区民健康医学講座の お知らせ

日 程	テ ー マ	診 療 科
8月25日(土)	明日から役立つ 慢性腎臓病 (CKD) の話	腎・高血圧内科
9月29日(土)	高齢者の膝痛	整形外科・ スポーツ診療科

時 間 … 15:00 ～ 16:00

会 場 … マグノリア横山ビル会議室2階
練馬区高野台 1-8-9
(順天堂練馬病院前)

定 員 … 100 名
(定員超えの場合は抽選となります。)

受 講 料 … 無料

申 込 … 往復はがきに

①講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④電話番号を
ご記入のうえ、講演日 8 日前までに
〒177-8521 練馬区高野台 3-1-10
順天堂練馬病院 医療連携室 区民健康医学講座宛に
お送りください。

お問 合 せ … 順天堂練馬病院 医療連携室
TEL:03-5923-3111

